

株式会社 イーコンセプト

URL: <http://eco-candle.biz/>優れた燃焼技術が
今、着々と進化を遂げている。

独自の燃焼技術を駆使し、環境配慮型の事業を展開するイーコンセプトが
今までにない安全性、省エネを実現する新製品「燃焼促進器」を開発。販売を開始した。



大分城址公園で開催されたキャンドルイベント



復興支援イベントキャンドル風で消えない「ほのあかり」

Step-1 なぜ海外展開に至ったか？

“風で消えないろうそく”でデビュー、
史跡寺院やイベントで、夜空を彩る。

火が燃えるときに空気の流量を調整する特殊な器具を用いると、一酸化炭素を排出せず、燃焼効率を飛躍的に高めることができる。この特許技術をろうそくに応用したのが、風で消えないろうそく「ほのあかり」だ。大分県の国宝白杵石仏や広島県宮島の大願寺などでは線香の種火として、また、全国各地のイベントではキャンドルナイト用に使われている。

開発したのは、米国で燃焼技術を研究し日本で起業した松山会長。事業パートナーの常川社長とともに、最初に取り組んだ仕事がこの「ほのあかり」の販路拡大だった。ろうそくの国内需要が低迷しているため、アメリカ向け販売の可能性を日

本貿易振興機構（ジェトロ）に相談、アドバイスを受けながら検討をはじめた。



イベント「龍のオブジェ」（白杵市 法音寺）

Step-2 海外展開への準備

独自の燃焼技術を生かした
新たな商品開発をスタート。

2013年にアメリカ視察に出かけたところ、ヨーロッパ製品が流入しており、市場が成熟していたことが判明。現時点での参入は難しいと判断し、松山会長は独自の燃焼技術を生かした新たな商品の開発に取り組むことにした。

常川社長は、商品化するまでに必要な開発費用や、特許申請費用などの資金について日本公庫に相談し、融資を受けた。その後、本社、店舗及び工房としての機能は大分に残しつつ、研究拠点を革新的な技術を有するベンチャー企業が多く集まっている京都・京大桂ベンチャープラザに移設。新たな商品の開発を進めた。



大分県白杵市の店舗・工房「ほのあかり工房」



白杵石仏の種火に使われているほのあかり

■会社概要

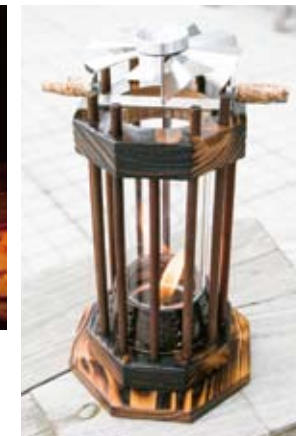
●所在地：大分県臼杵市
●業種：燃焼機器の開発・製造・販売 ●資本金：60 万円
●設立：2010 年 7 月 ●従業員数：3 人



特許の燃焼技術で製作された商品群



アロマキャンドル使用例



大分県の焼杉を使ったアロマキャンドル

Step-3 海外展開スタート

安全、省エネ、簡易型で簡単、
多くの課題を解決する燃焼促進機器を開発。

2013年から2014年にかけて独自の燃焼技術を進化させた「燃焼促進器」を開発。一酸化炭素を排出せず、加熱効率を40%高める効果を有し、ガスコンロのゴトクや一人鍋の卓上ゴトク、アウトドア用七輪として発売した(米国・インド・中国の特許及び日本特許(申請済))。これらの技術は京都文化ベンチャーコンペティション京都府知事賞グッドアイデア賞やエコジャパンカップビジネスベンチャー部門においても受賞することになる。



写真中央は、燃焼促進機能に応用した清水焼の卓上コンロ。「お米が炊き上がるまで約 15 分。通常は 40 分以上かかる」と説明する松山会長。

それでも、なかなか燃焼の仕組みで省エネ効果を生むことが理解してもらえないことから、まずは知名度を上げることが先決と、展示会への出展、各種イベントへのキャンドル・燃焼促進器貸出等の事業を行っている。目下の課題は、価格。「低コスト化を図るために、海外への生産委託をスタートしているところです」。常川社長は、国際協力機構(JICA)の海外青年協力隊でタイにいた経験と人脈を生かし、タイの生産委託先において製品の試作に取り組んでいる。将来的には生産拠点となる工場を建設することも視野に入れている。

Step-4 今後のビジョン

ローコスト化を実現し
途上国の人々の生活に貢献。

今後の事業については、燃焼促進機器での、エネルギー分野への進出、それから、燃料費の高騰、エネルギー不足に悩む途上国向けの展開が大きな目標だという。

同社は現在、次のようなアイテムを販売又は開発中である。①バイオマス燃料などで、お湯を沸かしたり、ストーブとして使える「簡易コンロ」。②イベントや寺院の種火、防災アウトドア用に用いる「屋外用キャンドル」。③「キャンドルランタン兼コンロ」及び「アロマディフューザー」。④「施設園芸用暖房機器」。いずれも同社の高度な技術力を生かした安全、省エネを実現する優れた商品である。

「タイでの生産が軌道に乗り、ローコスト化を実現できれば、途上国の人々の豊かな生活に貢献できる商品だと思います」と常川社長。独自の燃焼技術を途上国の人々の生活向上に生かすべくチャレンジを続けている。



研究室は京都の市街地を見下ろす絶景の地に。

Interview▶▶ 社長インタビュー

常川 真由美氏
株式会社イーコンセプト 代表取締役

燃焼促進器が、平成 25 年度第 26 回「中小企業優秀新技術・新製品賞」奨励賞を受賞するなど、権威ある賞をいただいて、開発者の松山とともども、研究成果が評

価されたと嬉しく思っています。一日も早くタイの工場での生産を本格化させて低コスト化を図り、世界中の、特にアジア、アフリカの途上国の人々の生活に、安全性はもちろん、大幅な省エネにもつながるこの燃焼促進器を役立ててほしいと願っています。

この京大桂ベンチャープラザには革新的な技術を有しているベンチャー企業が多く集まっています。様々な情報が飛び交い、いつも新しいものを生み出すパワーをいただいています。